



# 大江の風



10月6日  
No.83

## 10月の校長講話

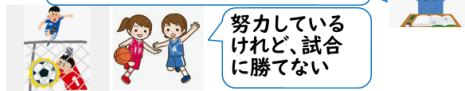
## 10月の合言葉「努力は必ず報われる」 そのためには、目標をしっかりとって!!

今日は、池江璃花子選手と内村航平選手の話から入りました。東京オリンピック出場を勝ち取った池江さんは「100メートルで優勝できると思っていなかった。何番でもここにいられることに幸せを感じようと思ってやってきた。自分が勝てるのは、ずっと先のことだと思っていたけれど、勝つための練習もしっかりやってきたし、努力は必ず報われるんだなと思った」と言いました。内村選手は、オリンピックでまさかの予算落ちをした後「普段失敗をしたことのない技で、バーから滑り落ちた。さすがにかなり落ち込んだ。一生、後悔するんだろうな。何でできなかったんだろう。きちんと努力してきたのに、できなかったことは初めてだった。予選で落ちてしまったことは練習が足りなかったと言われても仕方がない。ただ、人一倍、きちんとやってきた自負はある。「努力」とは何なのだろう。」と言いました。

「努力は必ず報われる」は本当でしょうか。10月のは「努力」について考えていきました。

### 10月は、『努力』について考えてみよう

勉強を頑張っているけど、成績がよくならない



努力しているけれど、試合に勝てない

オリンピック選手だって、何年も努力を重ね、生活も厳しく管理する。それでも、努力しても全員、メダルはとれない。でも閉会式で1個もメダルがとれなくても楽しそうに行進していた。みんな堂々としていた。なぜだろう。



ペンシルベニア大学のマーティン・セリグマン教授が創設した「ポジティブ心理学」。「人が幸せに生きること」を科学的に追求する学問です。彼は「人は目標を達成して幸せになるのではなく、**目標に向かうことによって**幸せになる。また、**熱中できる活動**を持っている人の幸福感も高くなる。」と提唱しました。オリンピックの閉会式で、メダルが1個も取れなかった国の人たちが、笑顔で楽しそうに堂々と行進していた姿が、それだと思います。「目標をしっかりと持って努力すれば、きっと報われる」という池江璃花子選手の言葉は、やはり真実なのです。池江選手は、身をもって示してくれました。誰もが辛く、無気力になることもありますが、「**努力は報われる**」と**信じる力**を持ち続け、大江の子どもたちは、自ら幸せを掴んでほしいと願います。

さてオリンピック後「きちんと努力してきたのに・・・。「努力」とは何なのだろうと悩んだ内村選手はどうなったでしょう。心配ご無用！彼は10月18日からの世界選手権に向けて「ノーマス为目标」にして努力を続けています。そして「「努力は報われる」それを証明するために僕は体操を続ける。「ムダな努力」は、きっとない。努力が報われないことが、僕は受け入れられない。」とインタビューで力強く答えていました。カッコいい生き方ですね。1年生にはちょっと難しかったかもしれませんが「努力は報われる」という言葉は、覚えてくれたのではないかと思います。

学校朝会の放送が終わって、職員から「校長先生の話って道徳みたいですね。」と言われましたが、私はこれまでずっと「全校道徳」のつもりで、全校児童の士気を高めるために一生懸命お話をしています。この校長講話もあと数回、子どもたちの心の片隅にでも残ってくれたら嬉しいです。

### どちらが しあわせでしょう。



どうせ甲子園なんか出られるわけがないと、だから練習しているチーム



甲子園を目指して白球を懸命に追いかけているチーム



どうせ勉強したってむだだ、と思っている子ども



よし、わかるまであきらめないで勉強しようと思っている子ども



「どうせあたしなんかできないもん。」と、はじめからあきらめている子ども



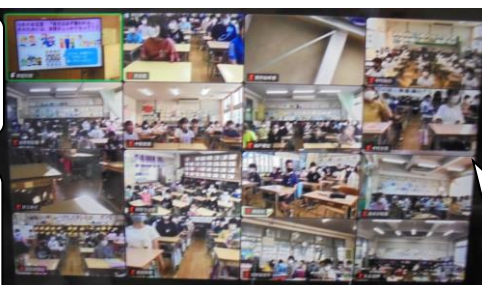
「あたしもできるかもしれない。」と思っている子ども



音楽委員会が今月の歌のポイントを教えてくださいました。大きな声では歌えませんが明るく楽しい気持ちで口ずさんでほしいです。



うれしいニュース！10月から以前育成クラブにおられた西方先生が、学習支援員として毎日授業に入っていたできるようになりました。みんなとっても嬉しそうでした。よかったね。安心して学習できます。



学校朝会。画面を見ると本当にみんな姿勢を正して、ちゃんと聞いています。うれしいな～。ありがとうね。